

# 週報 第3260回

会長 渡辺 万寿 副会長 瀧谷 達  
幹事 根尾 玲子 SAA 中田 広宣

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



## 今週の例会(2024年9月13日) 第3260回

### ■ プログラム

納涼例会

### ■ 次週のプログラム

9月20日: 卓話担当 原 正人 会員  
「私の仕事」

### ■ 今後の予定

・9月27日: 卓話担当 細川 嘉則 会員

### ■ 祝 誕生日

なし

### ■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

### 今月の歌

#### 赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ  
おわれて見たのは いつの日か  
夕焼小焼の 赤とんぼ  
とまっているよ 竿の先

### ■ 先週の例会



### 会長の時間 渡辺 万寿 会長

#### ドナルド・カーター

鋳鉄所を営んでいたフレデリック・トゥイード (Frederick H. Tweed) が、新しくできたシカゴ・ロータリークラブに入会したのは1905年12月のことでした。彼は次々と新しい発明をして、その特許申請を、マルケット・ビルで事務所を開いていた特許弁理士、ドナルド・カーター (Donald M. Carter) に依頼していました。

1906年4月、たまたま、シカゴ・クラブに特許弁理士がいなかったことに気づいたトゥイードは、彼に入会の意

思があるかどうかを確かめました。その話を聞いたカーターは、非常に喜ぶと共に興味を示して、ロータリー・クラブの目的は何かと尋ねました。

トゥイードはポケットに手を入れて、まだインキが充分乾ききっていない、新しい定款のコピーを取り出して、「会員の事業の拡大と親睦の増進」と書かれている条文を声を出して読み上げました。それを聞いたカーターは、「何と都合のいい定款なんだ」と一笑に付し、「私は、そんなクラブには入る意思はありません」と答えました。しばらく考えてから、彼は更に言葉を続けました。「会員以外の人々に、何か利益になるようなことをするならば、そのクラブは大きな将来性を持つはずです。だから、ロータリークラブも、何らかの市民に対する奉仕をすべきだと思います。」

その言葉を聞いたフレッドは、まさにその通りだと思っ、カーターの考え方を実現させるために、ぜひクラブに入って一緒に行動するように誘いました。その熱意に打たれたカーターは、1カ月後に入会し、二人はポール・ハリスを説得して、1906年12月に、新しい定款第3条として「シカゴ市の最大の利益を図り、市民としての忠誠心を培う」という一節が付け加えられました。

この第3条を実践に移した最初の社会奉仕活動が、シカゴのループ地区の公衆便所設置運動です。

トゥイードとカーターは、後日、連盟の共同声明の中で、その本意を次のように述べています。

「まったく利己的な組織には持続性がありません。もしも我々がロータリークラブとして生き残り、発展することを望むならば、我々の存在を正当化するために何ごとかをしなければなりません。我々はある種の市民に対する奉仕をしなければならぬのです。この定款の改正は、われわれが市民に対して奉仕をすることが可能になるように、シカゴ・ロータリークラブの綱領を拡大することを目的としたものです。」

会員同士の親睦と、物質的相互扶助を二本の柱として、エゴイズムに満ちた活動をしていた原始ロータ

リーは、新入会員ドナルド・カーターによって、初めて奉仕の理念の重要性に気付いたのです。

もう少し付け加えますと、「物質的相互利益」と「親睦」のみ終始することに限界を感じ、次の段階へのステップ・アップを考えていたポール・ハリスは、この事件を絶好のチャンスと捉えて、直ちに、ロータリーの在り方を転換することを決断し、定款を改正することを条件にドナルド・カーターに再考を促し、彼も快く入会を了承しました。

ポールは、たまたま出席した商工会の集まりで、ループ地区(シカゴ中心部)の通行人が公衆便所がないために不便な思いをしているという話を聞きこみ、これを奉仕活動を実践する絶好の機会だと捉えました。シカゴクラブは、早速、グレート・ノーザン・ホテルに25の市民団体の代表を集め、連合公衆便所建設委員会を設立して、行政に働きかけますが、すでに施設内にトイレを持っていることを強く主張する、シカゴ醸造組合と百貨店組合の激しい妨害を受けます。

当時のループ地区で顧客用にトイレを共用していたのは、百貨店かバー位しかなく、トイレを借りる必要に迫られた通行人は、女性は化粧品を買うことと引き換えに百貨店のトイレを借り、男性はビールの一杯も飲みバーの扉をくぐらなければなりません。もし、無料のトイレができれば、これらの店の収入に影響を与えることは、誰の目にも明かでした。交渉は長引き、土地を掘り起こすまでに2年の歳月が掛かってしまいましたが、最終的には、建設用地と20,000ドルの補助金を市当局から受け取ることに成功して、1,909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所が出来上がったのです。

社会奉仕第I号です。公衆便所設置は市民のニーズに従って市民団体を組織し、行政当局に働きかけて、実施にこぎつけたものであり、俗にいわれるような単に金銭を拠出した団体奉仕活動ではなかったことに注目しなければなりません。

## 幹事報告

根尾 玲子 幹事

- メールボックスに、ロータリーの友9月号を入れさせて頂いております。又、各テーブルの上に、ガバナー月信9月号を置かせて頂いておりますので、ご一読よろしくお願ひ致します。
- 来週の例会は、納涼例会となりましたので、お昼の通常例会はありませんので、お時間の方ご注意くださいきますように、よろしくお願ひ致します。夕方からの開始になりますので、よろしくお願ひ致します。
- 本日例会終了後、理事役員会をくすの木の間で開催致します。関係者の方はご出席をよろしくお願ひ致します。

## 委員会報告

- ロータリーの友9月号の読みどころの紹介。  
(小野寺 巧 会報・IT委員長)
- 来週9月13日(金)に納涼例会を開催させていただきます。受付は18時30分、開催は19時から、場所は同じくこの場所でございます。  
延期になったことにより、参加ができなくなった方、逆に参加できるようになった方は、申し訳ございませんが、事務局までその旨ご連絡よろしくお願ひ致します。  
内容的には当初予定していた通りです。服装については、ある程度 納涼ということを意識して頂いて、軽装で来ていただければと思いますので、よろしくお願ひ致します。(細川 嘉則 親睦活動委員長)

## ■ ビジター

なし

## ■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/6	37名	7名	—	84.09%
8/9	35名	9名	5名	90.91%

## ■ メークアップ

- 榎本(8/22 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
- 松内(7/26 会員増強委員会)
- 南出(7/26 社会奉仕委員会)
- 森口(8/23 親睦活動委員会)
- 丹農(8/15 和泉南RC)

## ■ ニコニコ箱

- ・櫻井理事、本日は宜しく御願ひ致します(渡辺)
- ・櫻井社会奉仕部門担当理事、本日のクラブフォーラムをよろしくお願ひします(根尾)
- ・櫻井理事様、本日クラブフォーラムよろしくお願ひします(中田)
- ・櫻井さん、本日クラブフォーラム宜しくお願ひ致します(松内)

ニコニコ箱合計	16,000円
累計	176,000円

## ■ お誕生日



杉本 憲一 会員 (31日)・今井 康隆 会員 (31日)

## 先週のプログラム ▶ クラブフォーラム

**櫻井 善章 社会奉仕部門担当理事**

皆様、こんにちは。

今年度、社会奉仕部門の地域社会奉仕部門、及び青少年・学友委員会部門の理事を拝命しております、櫻井です。本日は社会奉仕部門のクラブフォーラムのお時間をいただきましたので、お話しさせていただきます。委員会の構成メンバーは、副委員長として西田会員、委員に南出会員、松村会員、前山会員、外山会員、岡本会員、今井康隆会員です。

本日はクラブフォーラムということで、社会奉仕部門の実施、推進について、会員の皆様との討論会とすべきところですが、人数的にも討論会は難しいと思います。今回、私は初めて社会奉仕部門の理事を仰せつかりましたが、今まで社会奉仕部門の方のクラブフォーラムは、何となく聞いてきました。そのため、今回、社会奉仕部門の理事を拝命するまでは、実際に社会奉仕部門の方が、何を具体的にされているかは、何となくしかわからない状況でした。

よって、今回は社会奉仕部門の前年度の具体的な内容等と、今年度実施していく内容を具体的に皆様に共有していただけるようにお話しさせていただこうと考えました。社会奉仕部門の活動としては、二つあり、一つは地域社会奉仕部門の活動、そしてもう一つは青少年・学友委員会の活動です。

まず、一つ目の地域社会奉仕の活動としては、内容的には昨年度と同様の活動を予定しています。

一つ目としては献血活動への協力です。

泉大津献血推進協議会等と協力し、泉大津市役所で献血活動の受付の協力を予定しています。

献血活動への協力については、前々年度までは会員の方に、協賛品等のご協力をいただいていたのですが、皆様のご負担と公平性等の観点から、協賛品については昨年度からクラブ予算で行っていくことになりました。社会奉仕部門の予算として、協賛金・委員会開催費等として、250,000円の計上を行っています。そのうち、いくらかを献血活動の協賛品として支出させていただく予定です。献血活動は令和7年2月頃を予定し、時間は午前10時から午後4時半頃までです。

皆様にはその6時間半の間、お許しのいただける時間を1時間以上ご参加いただき、献血に来られた方への協賛品のお渡し等にご協力をいただきます。開催日の1か月前ぐらいにご協力していただける方を募りますので、ご協力よろしく願いいたします。また、ご協力いただいた方はメーカーの対称になります。

地域社会奉仕の活動のもう一つの活動として港湾美化啓発運動の協力です。泉大津市が主体となって、各種団体が参加し、当クラブも参加して港湾清掃を行っています。毎年5月末の最終日曜、もしくは6月の第一週の日曜日の8時に泉大津シーパsparkに集合し、1時間程度、清掃を行うという内容です。

公の時間は8時～10時までですが、だいたい1時間程度で終わっています。終了するとスポーツドリンクとタオルが支給されます。私は入会して8年目ですが、半分以上は参加させていただきました。ロータリーのメンバーは44名ですが、毎年20名程度参加されていま

す。暑い時期ですが、是非ともご参加のほど、よろしくお願ひいたします。

次に、青少年・学友委員会の活動について、お話しさせていただきます。青少年・学友委員会の活動としては、本来ならインターアクトクラブやロータリー青少年指導者養成プログラム(ライラ)などを行っていくべきですが、現状はどこのロータリークラブでも、ロータリーアクト等は減少傾向にあるようです。その原因は少子化、高齢化等によるものだと思います。現実的に現状では泉大津ロータリークラブの中でもインターアクトクラブやライラの活動は難しいものと思われます。その代わりとして泉大津ロータリークラブでは、ダンスイベントへの協賛やあるいは、泉大津市内のこども食堂への協賛を行っています。

まず、ダンスイベントへの協賛ですが、昨年度は令和6年3月5日に泉大津Dance & Marche(ダンス&マルシェ)に3万円の協賛と後援協力を行いました。今年度は同様のイベントが年2回行われる予定となっていますので、2回合わせて5万円の協賛と後援協力を行う予定です。

続きましては、こども食堂への協賛です。昨年度は泉大津市を通じて、数カ所のこども食堂に金芽米200kg(5kg×40袋/合計10万円分)を寄贈しました。現在は泉大津市内には16カ所のこども食堂があり、それぞれのこども食堂に行きわたったと思います。今年度も昨年度と同様の寄贈を行う予定です。ただ、そのこども食堂でも泉大津市12.92平方キロメートルの中では、地域によってはこども食堂が身近に存在しないなどの格差が生じています。その格差を減らそうとして、最近では地域の飲食店がこども食堂の役割を果たす、フードリボンプロジェクトというのが始まっています。フードリボンプロジェクトの内容はご覧いただいた通りです。現在の参加店舗は

瀧谷副会長が経営されている SOBA cafe dining TAKIHAMAの1店ですが、他に3店舗が準備中です。利用される際は、是非ともご協力いただければと思います。

最近の世の中は、デジタル化が凄い勢いで進むなど、時代の変化が著しいです。それぞれの時代に合わせた、社会奉仕活動を我々ロータリークラブも行って行かなければならないと思います。今後も、泉大津ロータリークラブの会員が、全員で参加出来、楽しみながら社会奉仕活動が出来るよう立案・計画し実行していきたいと思っています。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか